



ま え む き に
ひ た む き に
純 情 産 地
い わ て

特集

純情産地いわてブランドプロミス

Vol.2

ブランドプロミスに込められた想い

5月号では、ブランドプロミス制定までの背景についてお伝えしました。若手職員を中心としたプロジェクトでブランドの再構築に取り組み、「本会の目指すべきゴール」や「純情産地いわてらしさ（岩手らしさ・全農らしさ）」を見つめなおしました。そこで「ブランド」「ステークホルダーへの約束」であると定義し、「生産者」「消費者」「地域社会」に対して、理想に向けて努力し続けることを「純情産地いわて」のブランドの証と約束しています。

そして、ステークホルダーに対して理想像を広く周知して愛着を感じてもらうこと、また本会の職員が業務をするうえでの指針とすることを目的に一つの文章に落とし込んだものがブランドプロミスです。それぞれの言葉には、次のような想いが込められています。

純情産地いわて ブランドプロミス

厳しくも豊かな自然に育まれ、色とりどりの価値を生み出す岩手の農業。

岩手らしさの定義①：品種の多様性

それは、この地に生きる生産者のひたむきな想いに支えられています。

岩手らしさの定義②：県民性としてのまじめさ

私たちは、生産者とともに、その想いを消費者の食卓へとひろげ、

協同組合組織としての意識

プロミス①：最終消費者の視点を持ち、岩手産品の付加価値を高める

岩手の農業を継承し、価値を高め、未来へつなげます。

プロミス②：一過性で無い、岩手農業の継続的な発展への意志

また、私たち自身も地域社会の一員として、強く根を張り、

ローカルマインドの表明（全国組織だが、地域の一員である）

岩手の未来をまえむきに支え続けます。

プロミス③：コミット範囲の拡大（農畜産品から地域の未来へ）

「つなげる」「ひろげる」「根を張る」

つなげる活動：岩手農業の継承施策 ひろげる活動：消費者向け施策 根を張る活動：地域社会向け施策
貴会の重点的な活動の“くくり”として使用する事を想定。

これが、私たち“JA全農いわて”の約束です。

旧ロゴマーク



新ロゴマーク



ま え む き に
ひ た む き に
純 情 産 地
い わ て

11種のモチーフによる ロゴマークを制作

これまで長い間使用してきたロゴマークから大きくスタイルを変更し、ブランドプロミスを視覚的に分かりやすく表現するためのロゴマークを制作しました。新しいロゴマークには、次のような意味や想いが込められています。

11種類の品目

「岩手県らしさ」を表現するため、岩手県で生産される農畜産物のうち、生産量が全国10位以内に入る品目をロゴマークに取り入れました。

まえむきに ひたむきに

厳しい寒さの中でも「まえむき」に暮らす生活の知恵と、広大で豊かな自然を守り

北欧をイメージしたデザイン

岩手の気候や自然の豊かさは、北欧に通じるものがあります。北欧独特のシンプルで、幾何学模様で農産物を表現し、色合いも柔らかなイメージにすることで親しみやすさを表現しました。

我々は、このロゴマークが親しまれ、長く愛されるよう使い続けていく必要があります。

今回は、ブランドプロミスに基づく活動についてお伝えします。

「純情産地いわて」が目指す「理想像」その3つの柱。

県産野菜の本格出荷を前に、本年度の販売強化に向け、事業推進方針や販売対策を関係団体間で協議・確認しました。本会のほか、生産者である岩手県農協大型野菜経営者協議会のメンバー、県内各JA、県担当者、県内外の青果会社など約60人が出席しました。

気候変動に伴う品質低下への対策を行うことで生産基盤の維持・拡充を図るほか、「オールいわて」での流通販売力強化、JA域を越えた集荷体制の確立を事業推進の基本方針として掲げました。今年度の販売目標は150億円(前年対比104%)と定め、買取を含む直接販売の拡充で販売先確保と生産者収益の安定を図るほか、トラックドライバーの労働時間制限で生じる物流課題の改善に向けて取り組みます。



県産野菜の販売強化について協議しました

令和7年度いわて純情野菜販売対策会議

令和7年5月16日(金)

「つなげる」

いわての農業を継承し、
価値を高め、
未来へ繋げる。



「ひろげる」

生産者とともに、
その想いを
消費者の食卓へと
広げる。



「根を張る」

地域社会の
一員として、
強く根を張る。



いわて純情米消費月間 キックオフイベント

令和7年4月29日(祝・火)



いわて純情米のおにぎりを配布する天津木村さん

岩手県産ブランド米「銀河のしずく」(「金色の風」のおにぎりを配布するイベントを盛岡駅構内で行いました。岩手県や本会で構成する「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」が企画をし、「いわて純情米消費拡大月間キックオフイベント」として実施しました。配布用に用意したおにぎりは計958セット。「いわて純情米応援団長」を務める天津・木村卓寛さん、いわて純情むすめ、「岩手まるごとおもてなし隊」のマジカル河童ちゃんらが駅利用者におにぎりを手渡し、岩手県産米の美味しさをアピールしました。

※「銀河のしずくの日」は4(し)・2(ず)・9(く)、「金色の風の日」は5(こん)・2(じ)・9(き)の語呂合わせで、1ヵ月間を「いわて純情米消費拡大月間」としています。

全農杯卓球大会 岩手県予選

令和7年4月20日(日)



全国大会出場を賭けて熱い戦いが繰り広げられました

花巻市市民体育館で「全農杯 全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)」の岩手県予選会が行われました。県内各地から小学生以下の児童82名が参加、全国大会出場を目指して熱戦を繰り広げました。岩手県予選会では、副賞として、各階級の優勝選手に「岩手県産豚ロース肉味付け3種セット」「銀河のしずく5kg」、2位の選手に「黒豚真二郎ロース味噌漬け」、3位の選手に「銀河のしずく5kg」を贈呈したほか、参加賞として出場選手全員にりんごジュースと山葡萄グミを提供しました。各階級3位までの入賞者は、7月25日から兵庫県神戸市で開かれる全国大会へ出場します。

生産者と共に奮闘する
営農支援部の活動をレポート

TRY! 営農支援 レポート



営農支援部
営農技術課
佐々木 歩

今回は、水田畦畔が崩れることなく雑草の発生を長期間にわたって抑制する防除方法として「DZ作戦」をご紹介します。

「DZ作戦」とは、土壌処理除草剤のダイロン(II-D)と、茎葉処理除草剤のザクサ液剤(II-Z)を混用することで、今生えている雑草の地上部を枯らし、さらにこれから生えてくる雑草をおさえ、長期間にわたって雑草の発生を抑制する防除方法です。一般的には、除草剤の散布後1ヵ月ほどで再度除草作業が必要となります。



が、DZ作戦の場合は、散布後2ヵ月程度雑草を抑制できるため、雑草防除の省力が期待できます。

本会では令和3〜6年にかけて、生産者JAと連携してDZ作戦の現地実証をおこなってきました。事例として、夏場の草刈り作業が重労働であることが課題だった一関市のモデル経営体での実証結果をご紹介します。

DZ作戦では雑草と土壌の両方に薬液を散布することが重要です。実証では5/27にDZ混合液を散布しましたが、事前(5/14)の草刈りにより、散布当日の雑草草丈は20cmとなり、雑草に散布しつつ土壌にも十分に散布される条件となりました。6/4(DZ8日後)には雑草の黄化が

DZ作戦実証畦畔の定点観察(5/27 DZ散布、7/19 Z散布)

6/4 DZ散布8日後



6/14 DZ散布18日後



6/27 DZ散布31日後



7/8 DZ散布42日後



7/31 Z散布11日後



8/15 Z散布26日後



始まり、6/14(DZ18日後)には雑草が枯死し、7/8(DZ42日後)観察まで抑草効果を確認できました。7/19にはザクサ液剤(Z)を散布し、8/15(DZ80日後、Z追加26日後)まで草刈り不要の状態を維持できました。経営体からはDZ作戦+Z散布により、6〜8月の暑い時期の草刈り作業を省略でき、収穫前の草刈り

「DZ作戦」で水田畦畔雑草を長期抑草!

作業も草丈が低く楽だったと評価をいただきました。

岩手県では斑点米カメムシ被害の防除対策として、出穂10〜15日前の畦畔の草刈りを指導しています。上記の実証では、8/15まで畦畔に出穂しているイネ科雑草はなく、斑点米カメムシ対策にもつながりました。近年のような猛暑下の草刈り作業は重労働であり、熱中症や農作業事故の危険が伴います。DZ作戦で畦畔雑草管理を省力的にこなしましょう。

YouTube[JA全農いわて公式]Let's Try!!いわて営農チャンネル
「『DZ作戦』で水田畦畔雑草を長期間抑草!」



いわて純情むすめ卒業

1年間「純情産地いわて」のPR活動してくれた5名は今月末で卒業を迎えます。
いわて純情むすめはこれからも純情産地いわてを応援します!



おおくぼ かなで
大久保 佳奏

1年間の活動を通して、岩手県の農畜産物でたくさんの人が繋がり、笑顔になっていることを強く感じました。県内外での販売促進活動では、お客様が温かく接してくださいました。生産者の方々も多くのことを教えてくださいました。この1年間の活動を通じ

て、岩手県の農畜産物、そして岩手県が大好きになりました。本当にありがとうございました！



かみやま ゆいは
加美山 結葉

1年間の活動を通して、「岩手県は良いところ」という思いから「大大大好きな岩手県」へと変化しました！生産者の方々との交流、販売促進活動でのお客様との対話、農作業体験など、さまざまな気持ちでいっぱいになりました。私たちがいる農畜産物には、たくさんの人々の苦められていくことを改めて実感しました。さだまきす「ごちそうさま」に心を込める。さんだの愛と優しさ、温かな恵みに包まれています。本当にありがとうございました！



桐明 未唯沙



どんな時、どんな場所でも温かく
支えてくださった地域の皆さん、家
族や友人に感謝の気持ちでいっぱ
いです。活動では、商品それぞれ
の特徴や良さが異なり、販売するの
が楽しかったです。回数を重ねるごと
に、自分のPRが上達することにより
がいを感じました。また、JA祭りなどのイベントには以前は来場者
として参加していましたが、出演者や出展者として活動することが
でき貴重な体験になりました。一生忘れられない思い出の宝にな
りました。心から感謝しています。本当にありがとうございました。



にいだ あやな
新井田 彩那

私が一番印象に残っている活動は、販売促進活動です。いわて純情むすめとしての活動を始めたばかりの頃、自分からお客様に声をかけることに不安がありましたが、商品を手に取っていただいたり、「美味しい」と言っていたり、

ただたときは大きな達成感がありました。この経験を通じて、さまざまな人と関わる楽しさを学ぶことができました。本当にありがとうございました。



たきざわ
瀧澤 せりな

「2024いわて純情むすめ」として活動させていただき、一生の宝物となる体験をすることができました。岩手県の特産品に込められた生産者の方々の愛情や、消費者の方々の優しさを感じ、より一層岩手県が大好きになりました。特にタイでの販売促進活動では、日本人やタイのお客様、スーパーの方々など、多くの人との繋がりを強く感じました。全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。1年間本当にありがとうございました。

各事業部における活動を紹介します。今回は酪農事業の生産支援メニューです。

酪農課の取り組み

酪農課では、県内の生乳生産基盤の維持・拡大を図ることを目的に次のような対策事業を実施しています。

1. 空胎乳牛摘発効率化事業

乳汁によるPAG（妊娠関連糖蛋白）検査利用に係る経費の一部を助成。

◎助成単価…1検体当たり400円（不課税）

2. 遺伝的牛群能力向上支援事業

遺伝子型検査（SNP検査）利用に係る経費の一部を助成。

◎助成単価…1検体当たり5,000円(不課税)

3. 暑熱対策強化事業

積極的に暑熱対策に取り組む生産者に対してその経費の一部を助成。

●助成単価…暑熱対策費用に対し、事業費の30%を助成。

助成上限は定額30万円。

4. ミルキングシステム改善推進事業

ミルキングシステム改善に積極的に取り組む農家に対し
助成。

●助成単価…ミルキングシステムの改善及び更新に対し、

20%助成。助成上限は定額20万円。

この他にも各種生産基盤対策事業がございますので、お気軽にお近くの農協または酪農課にお問い合わせください。
多くのご活用お待ちしております。

生産指導課の取り組み

生産指導課では、繁殖面のサポートとして、次のような取り組みを実施しています。

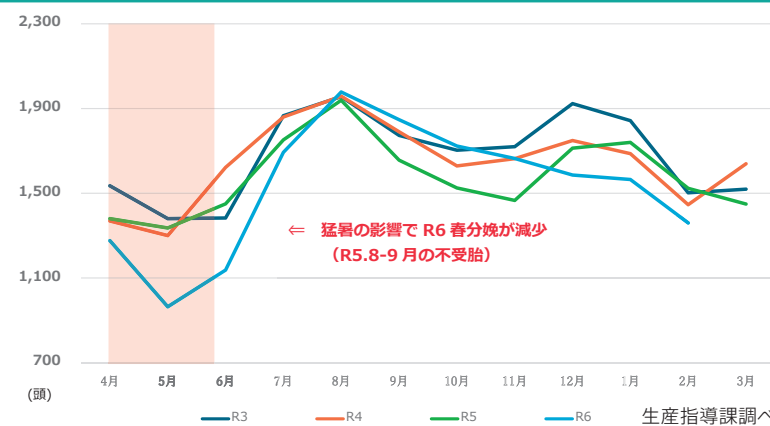
1. 新ETシステムによる受精卵移植

乳牛・肉牛の改良と畜産酪農基盤の維持拡大を目的として、ホルスX受精卵、和牛受精卵の移植に取り組んでいます。今年度は乳牛に対して安価なF1受精卵移植に積極的に取り組み、特に暑熱期の受胎促進を目指します。

2. 乳牛借り腹受精卵 移植事業

不受胎牛を中心とした乳牛を受精卵移植で受胎させ、飼養牛更新率を下げることを目的に実施しています。移植にあたって農家負担がなく、生まれた産子をF1価格で早期に引き取ることで個体販売収入と哺乳作業の軽減が図られます。不受胎で困りの場合はお気軽に生産指導課にお問い合わせください。

乳牛からの出生頭数の推移



JAいわてグループ

農業機械フェア

2025

6/20(金) 21(土)

AM9:00~PM3:00 AM9:00~PM3:00

会場/ JA 江刺本店前 特設会場

住所/ 奥州市江刺岩谷堂字反町 362-1

① お楽しみ抽選会 & キッチンカー

② 共同購入コンバイン展示

③ スマート農業 農業用ドローン ラジコン草刈機 GPS自動操舵

④ JAいわてグループ推奨 草刈機

⑤ ステージイベント

純情産地いわて応援団長 天津木村 来場

・じゃんけん大会

・もちまき

ご来場者全員に 粗品プレゼント!

主催/ JAいわてグループ・JA全農いわて 協賛/ 各出展メーカー

※お客様駐車場は北側をご利用ください。

※イベント内容は変更または中止となる場合がございます。

QRコード: @154cqvgg JA全農いわて営農LINEにてお得な情報を発信中

編集後記

はじめまして! 管理部純情ブランド推進室に配属になりました、嶋中と申します。
この春から盛岡に住み始めたのですが、先日、初めて石割桜を見て、あまりの迫力に感動しました!
まだまだ分からないことばかりですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします! (嶋中)

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。
全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 純情ブランド推進室
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8629 FAX019-626-8634
<https://www.junjo.jp>

